

組織名	うつのみや市政研究センター
-----	---------------

1 組織概要

所在地	栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号市役所6階 総合政策部 政策審議室 市政研究センター
TEL	028-632-2059
FAX	028-632-7014
URL	http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/index.html
e-mail	専用送信フォームあり
設立	2004年4月1日
設置都市等	栃木県宇都宮市
代表者	三橋 伸夫 (所長/宇都宮大学名誉教授)

2 組織動向

(1) 沿革

設置経緯	2004年、宇都宮市が抱える行政課題について調査研究し、新しい時代に対応した政策の提案を行うため、総合政策部政策審議室の出先機関として設置した。
見直しの動向	—
役割(2018年時点)	○「調査研究機能」「人材育成機能」「情報収集・発信機能」の3つの機能を持つ。 ○特に調査研究機能については、少子高齢化、分権化、市民の価値観の多様化など、時代の潮流変化へ対応するための、基礎的・専門的、中期的な課題に関する、政策及び施策の調査研究を行う。 ○市の部局における調査研究や政策及び施策立案を支援するため、各種相談、情報提供等を積極的に行う。

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	3人
うち常勤研究員数	3人
非常勤研究員数	3人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に: 幅広い識見と地域政策に理解を持つ学識経験者、事業者等構成された企画運営アドバイザーの設置) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	主として本課(政策審議室)が行い、一部研究所内にて行っている。
市民参加、外部連携	大学との連携(共同研究・勉強会の実施・大学での講義実施など)

(3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2018年度予算	4,228 千円	
2017年度決算	3,130 千円	
2016年度決算	3,040 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	うつのみや市政研究センター
-----	---------------

3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	「市政研究うつのみや」(年度1冊発刊)
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	<ul style="list-style-type: none"> ○所長(非常勤) <ul style="list-style-type: none"> ・センター業務の統括 ・研究員の調査研究に関する助言・指導 ○副所長(課長級職員) <ul style="list-style-type: none"> ・センター業務の統括 ・調査研究及び政策形成支援業務 ○研究員 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究及び政策形成支援業務 ・大学連携に関する業務 ・情報収集・発信 ・庶務的業務 ○専門研究嘱託員(非常勤) <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究及び政策形成支援業務 ・情報収集・発信
研究員の専門性育成の手立て	市人事課主導による職員研修によって行政職員としての能力開発に努めているほか、庁外で実施されている研修やシンポジウム等への参加、研究実施における外部の有識者のアドバイス等によって、政策形成能力の向上に努めている。
研究員のキャリアパス等	<ul style="list-style-type: none"> ○公募制は実施しておらず、一般の人事異動で配属される。 ○過去のキャリアパス例 <ul style="list-style-type: none"> i) 主税課→保健福祉総務課→自治振興課→保健福祉総務課→商工振興課→都市魅力創造課 ii) みんなでまちづくり課→人事課→市街地整備課再開発室 iii) 納税課
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○政策形成アドバイザーの派遣: 学識経験者をアドバイザーとして派遣し、庁内各部門での高度な政策立案や新たな行政手法の開発、導入に係る調査・研究を支援している。 ○3229(身につく)勉強会の開催: 学識経験者を囲んだ、少人数の職員勉強会(ゼミ方式)の開催している。 ○市提供講義「実践・宇都宮のまちづくり」の実施: 国立大学法人宇都宮大学において、本市が取り組むさまざまな施策・事業等についての講義を実施している。 ○その他の相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・政策立案基礎データの案内・提供など ・みや研GISを用いた庁内業務の支援

組織名	うつのみや市政研究センター
-----	---------------

5 2018年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
宇都宮市民の医療・介護レセプトデータに関する定量的解析—在宅ケアに着目して—	本研究では、宇都宮市における医療と介護の利用実態について、医療・介護レセプトデータを連結し現状把握を行うとともに、レセプトデータと地理情報システムを関連させることで、医療費や介護費の地域差を可視化した。分析については、特に、地域包括ケアシステムの中で取り組まれている高齢者の在宅ケアに注目し、介護度や地域によって異なる介護サービス利用状況を明らかにした。解析結果に基づき、今後の在宅医療・介護連携の推進に向けた関係データの有効な活用について提案する。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定
滞在型の関係人口化手法における空き家活用の可能性に関する調査研究	宇都宮市の転入者は、高い割合で宇都宮市の生活に満足傾向を示すものの、半数は転勤により再度転出してしまふ。人口減少時代を迎える中、これら一時定住者をはじめ、宇都宮市に興味を示す市外在住の人たちを関係人口化し、将来の移住・定住へと可能性を繋ぐ。一時定住者については地域課題の解決に携わることで、宇都宮市の来訪者については宇都宮ブランドや大規模催事を通して地域と繋げることで、それぞれ関係人口化を促す。また、増加が問題となる宇都宮市の空き家を民泊化し、来訪者の宇都宮市滞在時の容れものとして活用を図る。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定
宇都宮市における単身世帯を支えるまちづくりに向けた調査研究	本研究では、宇都宮市において増加する単身世帯に着目し、統計データ分析及びアンケート調査によって現状と課題を整理した。宇都宮市の単身世帯は、人間関係や日常生活、健康面、災害時など万が一の際の対応に不安を抱えていることがわかった。単身世帯が抱えるリスクを軽減するためのセーフティネットワークや、社会的孤立に陥らないための身近なサポート体制の整備、単身世帯に向けた効果的な情報発信の仕組づくり、専用窓口の設置を検討すべきである。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定
宇都宮市における食料品アクセス問題の現状と課題に関する調査研究	宇都宮市における食料品アクセス困難人口の地理的分布を把握し、高齢者の買物行動を分析した結果、食料品店へのアクセシビリティ(近接性と自動車利用可能性)が買物行動の量や質に影響を与えていることが示された。行政として食料品アクセス問題に対応するためには、地域と連携しながら、自動車を利用できなくても移動しやすい交通ネットワークを構築し、「家から出かけやすくなる」環境を整備するとともに、事業者や地域による買物支援の取組を支えていくことが重要である。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定
宇都宮市北西部における地域資源の観光活用方策に関する調査研究	本研究では、宇都宮市北西部に存在する地域資源に着目した新たな観光活用策と、交流人口を活用した北西部の地域振興に資する政策を提案する。本市北西部は、観光客の受入が盛んである一方、人口減少や少子高齢化、農業や地域組織の担い手減少などの地域的課題を抱えており、地域振興が求められている。今後は、本市北西部のさまざまな地域資源を活用し、コーディネート機関を設置して主に本市中心部の住民を交流人口として呼び込み、地域的課題の解決や地域振興に結びつける「地域支援型ツーリズム」を実施することを提案する。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定
宇都宮市の人口移動メカニズムに関する調査研究—転出者に着目して—	本研究では、宇都宮市における人口移動メカニズムの一端を明らかにするため、住民基本台帳の転居データを用いて、宇都宮市からの転出者の特徴を分析した。その際に、同一世帯から複数人で転出した場合の、複数の転出者の人員構成に着目して解析した。その結果、本市からの転出者は、人員構成別では、19～39歳の若年の夫婦とみられる男女のペア、転出先別では栃木県内の隣接市町や東京圏がとくに多かった。転出入者の属性と転出入理由を結びつけた基礎的資料の整備により、移住・定住の促進につなげたい。 国立国会図書館および市HP (https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/1009231.html) ※いずれも5月以降を予定